

令和6年度 通信制課程 前期入学
(4月入学) 生徒募集について

【愛媛県立松山東高等学校通信制課程】
「通信制」って知っていますか？
高校卒業の資格を取りませんか。
県内で唯一の公立高等学校通信制課程です。

《入学資格》
▽令和6年3月に中学校を卒業された方、または中等教育学校前期課程を終了された方
▽中学校卒業程度の学力を有すると認められる方
▽高等学校または中等教育学校後期課程に在学中、または中途退学した方

《出願期間》
・新入学 1次
令和6年2月5日(月)
～3月1日(金) 必着

・新入学 2次
令和6年3月21日(木)
～4月1日(月) 必着

・編入学
令和6年2月5日(月)
～3月1日(金) 必着

・転入学
令和6年3月11日(月)
～3月18日(月)

《留意事項》 通信制課程の学習システムは、全日制課程や定時制課

程と異なるため、入学を希望されるご本人に、下記の日程で直接説明をさせていただきます、願書を手渡しております。(本人以外には、募集要項(入学願書)をお渡しできません。説明会には保護者の方の同席も可能です。)左記の日程でご都合が悪い方は、お問い合わせください。

令和6年2月1日(木)、2月18日(日)、2月25日(日)、3月25日(月)

●問い合わせ
〒790-8521
松山市持田町2丁目2-12
愛媛県立松山東高等学校通信制課程
☎089-945-0131

石綿による疾病の労災補償制度について

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

肺がん(原発性)や中皮腫等を発症し、それらが業務により石綿にさらされたことが原因であると認められた場合には、労災保険給付を受けることができます。また、労災保険の遺族補償給付の支給を受ける権利が時効により消滅したご遺族の方は、特別遺族給付金を

受けることができます。詳細については、愛媛労働局または最寄りの労働基準監督署にご相談ください。

●問い合わせ
愛媛労働局労働基準部労災補償課
☎089-935-5206

転出届けはマイナポータルから！

マイナバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインでも転出の届出が可能です。また、スマートフォン用電子証明書搭載サービスに対応した端末をお持ちの方は、スマートフォンのみで手続が可能です。詳しくはデジタル庁ホームページをご覧ください。

※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続が必要です。

●問い合わせ
愛媛県企画振興部デジタル戦略局
スマート行政推進課
スマート行政情報グループ
G直通 ☎089-912-2286

えひめ結婚支援センター「ボランティア推進員」を募集します

愛媛県が開設した「えひめ結婚支援センター」では、独身男女に出会いの場を提供する出会いイベントを各地で開催しており、参加者の交際フォロー等を行う愛のキュービッド役として「ボランティア推進員」の方に御協力いただいております。次のとおり説明会を開催しますので、ご興味のある方はぜひご応募ください。(完全予約制・事前申込みが必要です。)

日時 令和6年2月21日(水)
13時～17時の間で1時間程度

場所 今治市城東公民館1階会議室
ほか全6会場で実施

●問い合わせ
えひめ結婚支援センター
☎089-668-6770
<https://www.msc-eime.jp/>

▲登録申込み



南海放送ラジオは、2024年2月1日から9月30日まで、ワイドFM転換実験として、総務省による「AM局の運用休止に係る特例措置」に参加し、AM新居浜局の運用を休止させていただきます。これにともない上島町ではAM1116kHzで南海放送ラジオをお聴きいただけなくなる場合があります。

この機会にいい音質でエフナンをお聴きいただけるワイドFMやradikoなどでお聴きいただきますようお願い申し上げます。

ワイドFMの受信には周波数90.0～94.9MHz対応のラジオが必要です。エフナン南海放送91.2MHzで南海放送を聞くことができます。

南海放送株式会社 新時代FM準備室
☎089-915-0917 (平日10時～17時)

双葉俳壇一一七一回句集(岩城)

玉子酒赤ら顔して下戸の父 伊佐 幹男
玉子酒ほのかにはおを染めし孫 田中 華丘
息白き仲良き友と肩並べ 澤田 丈子
出航するバージの船頭息白し 幸本 郁夫
マラソンや吐く白息の風を切る 山元 征子

玉子酒母の温もりすすり込む 美濃部妃苗
息白し揃うかけ声朝練習 森本 伸子
玉子酒子は頑なに酒を飲む 古林 幹枝
石鎚山の寒灯星座に紛れけり 田名後簗雨
水滴の朝日透せり庭枯木 幸本 孤燈

かみじま郷土話 23



昨年11月に、因島観光協会主催(上島町共催)により「麻生イトと因島・生名島」が開催され、3名が座談会に登壇し、私もそのうちのひとりとして、お話をさせていただきました。事前に生名島の方からイトさんと交流があった方を紹介してもらうことができたので、聞き取り調査を実施し、それを基に座談会でお話することができました。

イトさんは、明治9年(1876年)に尾道市で生まれました。北海道にわたり、トンネル工事の事務員として働いたあと、明治36年(1903年)に因島で旅館を営みました。因島で造船業が盛んになる

三秀園を造った麻生イトさん

と「麻生組」を結成し、多くの従業員を雇って、土木事業や船の解体業務を請け負いました。この頃からイトさんは、男装の女傑として名を馳せるようになったといわれています。豊かな財力の持ち主となったイトさんは、因島の土生幼稚園の新設や、土生町女子実業補習学校(広島県立因島高等学校の前身)の設立に対して資金援助を行うなど、熱心に社会貢献を行いました。また、大正14年(1925年)には、生名島で村の有志とともに、地域の憩いの場となる「三秀園」の造園を開始しました。イトさんは三秀園の中に別荘を建て、昭和31年(1956年)に亡くなるまでの晩年を生名島で過ごしました。自身の故郷である尾道ではなく生名島に庭園を整備することについては「～よその国の為にすることとは思ったが、イヤイヤ伊予も広島もない、やっぱり天子様の日本の島

じゃ思うての…」と語っていたようです。

三秀園に近いお家で生まれ育った方のお話によると、晩年のイトさんが別荘の縁側でくつろいでいる姿を何度も見かけ、「おじいちゃん」と呼ぶと大変喜んでお菓子をくれたようです。また毎月18日には、三秀園で「観音さま祭り」が開催され、多くのお店が出るなど盛大に行われ、生名島の子どもたちをはじめとした地域の人々にとって、楽しみのひとつとなっていたようです。



▲晩年の麻生イト(村上 貢『女傑一代「麻生イトの生涯」』より)



教育課
曾根 大地